

公明党の実績

徹して現場へ
あなたの声をカタチに

中野四季の森公園を整備

中野駅周辺には、災害時に大人数が避難できる場所がない

中野区は避難場所の計画を立てるが、整備費50億円のメドが立たず

「住民の命を最優先に」。高倉都議が都に粘り強く交渉重ねる

都からの財政支援要件が見直され、交付金を活用できることに

区の負担ゼロで、待望の「防災公園」が2012年にオープン

○…JR中野駅周辺では、災害時に大人数が避難できる場所がないことが大きな課題でした。

○…中野区は、駅北側の警察大学校跡地に、1.5haの防災公園を整備する計画を立てましたが、財政状況が厳しく、約50億円の整備費のメドが立ちませんでした。都から区への財政支援として頼みの綱だった都市計画交付金も、敷地面積の要件が「2ha以上」でした。

○…そこで高倉都議が「住民の命を最優先に考えるのが行政の仕事だ」と、都に粘り強く交渉を重ねました。

○…その結果、面積要件が「1ha以上」に見直され、区が負担することなく都の交付金を活用することになりました。

○…こうして2012年に開園したのが「中野四季の森公園」です。これ以降、23区内で防災公園の整備が進んでいます。

※ha=ヘクタール

整備費の負担内訳

国	約20億円
東京都	約30億円
中野区	実質ゼロ

1万5千人が避難できる四季の森公園の防災設備

- 防災用井戸
- 27基のマンホールトイレ
- 生活用水を使った池

マンホールトイレ



▲夏は子どもの水遊び場にもなる池

字幕・音声付き日本映画を実現

「日本映画に字幕を付けてほしい」。聴覚障がい者の願い

字幕表示には、セリフの一字一句に著作権者の許可が必要

手続きに手間がかかるため、映画会社が後ろ向きで実現せず

公明党中野総支部が国会議員と連携し、2009年の著作権法の改正をリード

障がい者のための字幕や音声の場合、許可は要らなくなった

○…聴覚障がいのある塩野谷富彦しおの やとみひこさんは、日本映画に字幕を付けてほしいと、30年以上にわたって、映画会社に掛け合ってきました。

○…しかし、字幕表示には、著作権を持つ監督や脚本家から、セリフの一字一句について事前に許可を得なければなりません。その手続きに手間がかかるため、映画会社は後ろ向きで、一向に実現しませんでした。

○…「誰にでも文化を楽しむ権利がある」。そこで立ち上がったのが公明党中野総支部でした。都に対応を促す一方、著作権法の改正へ国会議員と連携しました。

○…その執念が実を結び、2009年に改正

著作権法が成立。映画に障がい者のための字幕や音声を付ける場合、著作権者の許可は要らなくなりました。

○…これがきっかけとなり、字幕・音声付き日本映画が大きく普及しました。



▲国会傍聴席での塩野谷さん(中央)

産後ケア事業の導入を推進

出産後の母親が「産後うつ」になるケースが増加

都議会で民間と連携した専門家の自宅派遣を提案

中野区は都の補助を受け、2015年から事業スタート

○…近年、出産後の母親が育児不安などから「産後うつ」になるケースが増えています。

○…そこで公明党中野区議団と都議会公明党が力を合わせ、2014年3月、民間団体と連携した産後ケアの専門家の自宅派遣を都議会で提案。その結果、都は15年度、産後支援などを行う自治体への補助事業を立ち上げました。

○…これを活用し、中野区はいち早く、15年10月から専門家派遣などの産後ケア事業をスタート。都の事業の実施地域は、32区市町村(16年度)まで広がっています。



▲自宅を訪問し、産後ケアを行う専門家